

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

② 施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園綱島	種別：認可保育所
代表者氏名：村田 郁子	定員（利用人数）： 56名
所在地：神奈川県横浜市港北区綱島西3-4-8	
TEL：045-717-7241	ホームページ：like-kd.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2011年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員： 11名 非常勤職員：5名
専門職員	保育士：12名
	看護師：1名
施設・設備 の概要	保育室：2室

③理念・基本方針

- 1) 【子ども理念】のびやかに育てだいちの芽  
子どもたち一人ひとりが未来へ向かってのびていくだいちの芽
- 2) 第二の我が家のように家庭的で「陽だまりのような保育園」
- 3) 【保育方針】みとめ愛（信頼）・みつめ愛（安定）・ひびき愛（共感）  
あたたかいまなざしに見守られみつめられ心地よく安定した心  
人を信じ尊重し自分のことも好きといえるみとめあう心  
ひびきあい共感しあい 喜びと自信をもってたくましく生きていける心
- 4) 地域と共に育つ保育園
- 5) 子どもと共に輝いていける保育園

④ 施設・事業所の特徴的な取組

ワンフロアを活かしての異年齢活動を行っています。また、職員も園児全員を把握し、クラス関係なく声を掛けるようにしており、園全体で第二の我が家のように感じられるようにしています。子ども主体の保育を意識して子どもたちがやりたい事を子ども会議などで引き出して保育士やお友だちと協力しながら活動を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月2日（契約日） ～ 令和6年3月2日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成30年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点  
1. 多種多様な外部講師による食育教室により子どもの興味関心を引き出しています  
園では食育に力を入れており、野菜の栽培やクッキング活動、スーパーでの買い物体験等を行っています。2ヶ月に1回は外部講師が来園し、子どもたちは食育に関する多種多様な体験をしています。「出汁」の企業からは「かつお節教室」が行われ、かつお節のでき方の説明を受けたり、匂いを嗅いだり、けずり節体験をしています。野

菜に関する企業では、野菜の匂いや、切り口の観察、スタンプ遊びを行い、野菜への興味を引き出してくれています。乳酸菌飲料の企業では着ぐるみが登場し、「おなか元気教室」が開催され、子どもたちは着ぐるみと一緒に体操をしています。また、専門学校の学生が来園した際には、子どもたちと一緒に「栄養素カルタ」で遊びながら、タンパク質や炭水化物、脂肪等の栄養素の勉強をしています。このような体験は子どもたちに身体を動かしながら食育への興味関心を引き出すことに役立っています。

2. 手作り玩具を取り入れて子どもや環境に優しい取り組みを行っています  
園では子どもが発達状況に応じて多様な玩具を自由に選べるようにしています。室内にある絵本や玩具は、子どもが取り出しやすい高さで、片づけやすい棚に収納してあります。1,2歳児には指先遊び用に保育士が作成した玩具を準備しています。例えば、素材にフェルト地を使用した「穴通しの玩具」や「動物の絵合わせカード」等子どもの手に優しい安全な玩具を提供しています。また、3、4、5歳児は家庭から提供してもらったペットボトルや牛乳パック等の廃材を使った手作りの作品を作っています。その際には、保育士がハサミ、クレヨン、布、テープ等も用意し、子どもが自由に発想を広げることができるように配慮しています。捨ててしまうような廃材を利用することで環境に優しい取り組みに力を入れています。

3. 個々の職員の習熟度に応じた研修受講が望まれます  
園の研修体系は、本部が中心に策定し、各種研修メニューが用意されています。各職員は、園長や主任と面談したり状況を確認しながら受講しています。一方で、キャリアパスの周知や理解が進んでいない状況にあります。法人が目指す保育士像、小規模園内での目指す保育士像などの目標がないままキャリアを積み重ねている傾向にあります。豊富なメニューがある研修を活かすためにも、各職員のキャリアパスの理解と現地の確認が待たれます。

4. 各種情報が流れる会議体の確認が望まれます  
当園の規模は大きくありません。家庭的な雰囲気と園舎もコンパクトな状況です。職員とのコミュニケーションも顔の見える範囲で行われており、日々の情報伝達などが行われています。会議体も職員会議、給食会議やケース会議を定例で実施しています。リーダー層の会議は適時実施になっている状況ですが、園長の異動があるなどの状況もありました。リーダー層での意思疎通や保育内容の方向性をすり合わせ等、公式な情報流の整備が望まれます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

一つ一つの丁寧な聞き取りにて、園での取り組みや思いを伝えることが出来、評価へと反映していただき感謝申し上げます。評価を受けるにあたって、職員とともに新たな気付きや日々の保育の振り返りを行うことが出来、思いを一つにすることが出来ました。今まで大切にしてきたことを更に飛躍させると共に、課題と向き合い改善点を見出していきたいと思います。また、いただいた助言をもとに今後の園運営や保育の質向上へと繋げていきたいと思います。保護者の方々もお忙しい中アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり